

たんぽぽコ～ナ～



「おつきさまこんばんは」

林 明子 さく



暗い夜空に、まんまるのお月さまが現れます。明るく照らしてくれるお月さまの登場に子ども達の表情も自然とにっこり。雲があらわれてお月さまを隠してしまうと、子ども達の表情も曇り顔。お月さまの表情が、子ども達の心を動かし、心を通わせる絵本です。まるでお月さまが話しかけてくるようです。繰り返し見ていくうちに「こんばんは」とお互いにごあいさつするかわいい姿も！長年愛され続けている絵本です。

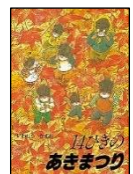
「どんなに きみがすきだか あててごらん」



サム・マクブラットニィ 作
アニタ・ジェラーム 絵
小川 仁央 訳

チビウサギは、デカウサギに、「どんなに きみがすきだか あててごらん」と聞きます。「そのなのわからないよ」と答えるデカウサギに、チビウサギは腕を思いつきり伸ばして「こんなにさ」と伝えます。お互い、背伸びをしたり、逆立ちしたり、飛び上がったたり…お互いを想う気持ちを言葉や体全体で表現します。「すき」の気持ちを伝えるってとても素敵なことですね。デカウサギの心のこもった言葉にほっこり。家族や友達、好きな人に「だいすき♡」と伝えたいお話です。

「14ひきのあきまつり」



いわむら かずお さく

きれいに紅葉した秋の森で、ねずみの子ども達とおばあちゃんはかくれんぼ。あれれ…ろっくんが消えちゃった！みんなでろっくんを探していくうちに、どんどん森の奥へ…。森の中では“あきまつり”が始まります。「わっしょい わっしょい」きのこのみこしを担ぐ、どんぐりやかえる、バッタやかたつむりといろんな生き物が集まり、かけ声が響きます。自然の持つ力、豊かな森の恵み…森の不思議にどんどん引き込まれていきます。家族団らんで自然の恵みをいただくページでは感謝の気持ちがあふれて、こちらまで穏やかな気持ちに包まれます。